



ロシアNIS経済速報

一般社団法人 ロシアNIS貿易会

2019年(令和元年)6月25日号 No.1796

目次

■ サントペテルブルグ国際経済フォーラム —「日ロビジネス対話」の概要—	1
■ 『ロシアNIS調査月報』2019年7月号のご紹介	9
■ トピックス	10
JBICとNEXIが鉱山機械輸出の支援／10	
SBIがラウンドワンのロシア進出を支援／10	

サントペテルブルグ国際経済フォーラム —「日ロビジネス対話」の概要—

はじめに

2019年6月6～8日、第23回サントペテルブルグ国際経済フォーラム(略称SPIEF)がExpo Forum Convention and Exhibition Centreにて開催され、世界145カ国から1万9,000人がこれに参加した。今年のSPIEFには、習近平国家主席が参加したため、中国からの参加者(約1,000名)が多かったが、日本からも官民合わせて100名以上が出席した。

日本関連の行事では、6月8日(土)に「日ロビジネス対話」が開催され、日ロ合わせて約150名がこれに参加した。SPIEFの枠内で日ロセッションが行われるのは、2015年以降、5年連続となる。本号では、「日ロビジネス対話」の概要を報告する。なお、会議の様子は、SPIEFのホームページで動画が掲載されているので、関心のある方は以下をご覧ください(ただし、英語と露語のみ)。

→<https://www.forumspb.com/en/programme/68987/>

モデレーター挨拶・趣旨説明

アレクセイ・レビク 露日ビジネスカウンスル議長 今回の日ロビジネス対話は、6月末に大阪で開催されるG20サミットとプーチン大統領の訪日を前にした極めて重要なタイミングで行われる。本対話では、二国間協力を進めるにあたって直面している問題を議論することによって、ボトルネックとなっているものを特定し、その克服に向けて実質的な一歩を踏み出す最良の機会となるだろう。本日は忌憚のない議論を行い、その結果を両国の首脳に報告をすることにしたい。